3. 利用目的（審査員と事務局以外へは非公開です。）

（必要があれば図などを入れて、わかりやすく記述してください。記述スペースが少ない場合には適宜追加してご記入ください。）

3-1 学術的背景とその中での利用課題の位置付け

3-2 利用課題の特色・独創性

3-3 計算機を利用する必要性

※同一研究内容にて学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）の他拠点における萌芽型共同研究制度（下記URL参照）に応募している場合には、当該拠点の資源を使用する理由など、研究計画の違いを説明してください。

https://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/ja/purpose\_summary.php#houga

4. 利用するアプリケーションと利用計画（審査員と事務局以外へは非公開です。）

4-1 利用するアプリケーション

（実施する計算に利用するアプリケーション名とアプリケーションの開発種別（自作、オープンソースソフトウェア（OSS）、商用アプリケーションなど）とその概要について記述してください。概要は2-3行程度で記述してください。欄は必要があれば増やしてください。）

アプリケーション名：

アプリケーションの開発種別：自作・OSS・商用・その他（　　　　　　　　　）

 （該当するものを残してください）

アプリケーションの概要（2-3行程度）：

アプリケーション名：

アプリケーションの開発種別：自作・OSS・商用・その他（　　　　　　　　　）

 （該当するものを残してください）

アプリケーションの概要（2-3行程度）：

4-2 利用計画

（mdx以外のシステムを利用する場合は、冒頭に計画全体での合計利用予定のトークン量、最大利用ノード数を記述し、続いて、「具体的な利用計画」に実施する計算内容毎に、その計算内容、大まかな実施時期、必要とするノード数、メモリ量、トークン、ディスク容量、実行回数などについて、4-1のアプリケーション名を引用しつつ、根拠とともに具体的に記述してください。**合計利用予定のトークン量および最大利用ノード数が本制度で提供する資源量（募集要項に記載のトークン量）の範囲内でなければいけません。** 1ノード（または1GPU）あたりのトークン消費係数αのシステムにおいて、Xノード（またはX GPU）を利用してT時間の計算をするために必要となるトークン量は X\*T\*αトークンです。募集要項でWisteria/BDEC-01 Aquariusのみ1GPUあたりのトークン消費係数が記載されていますので、ご注意ください。

mdxを利用する場合は、冒頭にCPU、GPU、ストレージなどの利用予定の資源を記述し、これらの資源を利用する根拠とともに、「具体的な利用計画」に4-1のアプリケーション名を引用しつつ、利用計画を具体的に記述してください。

※利用するシステム欄に☑を入れ、記入して下さい。

※「内訳」には「合計利用予定のトークン量」の計算過程を記入してください。

※利用しないシステムの欄は削除してください。

□システム名： Oakbridge-CX

・合計利用予定のトークン量：　　　　　　　　　トークン

(上限は6か月:8,640トークン、12か月:17,280トークン)

・最大利用ノード数：　　　　　　　　　　　　　　　ノード

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(上限は実施期間に関わらず256ノード)

内訳: X ノード×T 時間 ×1消費係数= ○トークン

□システム名： Wisteria/BDEC-01 Odyssey

・合計利用予定のトークン量：　　　　　　　　　トークン

(上限は6か月:8,640トークン、12か月:17,280トークン)

・最大利用ノード数：　　　　　　　　　　　　　　　ノード

(上限は実施期間に関わらず2,304ノード)

内訳: Xノード×T 時間 ×1消費係数= ○トークン

□システム名： Wisteria/BDEC-01 Aquarius

・合計利用予定のトークン量：　　　　　　　　　トークン

(上限は6か月:12,960トークン、12か月:25,920トークン)

・最大利用GPU数：　　　　　　　　　　　　　　　GPU

　　　　　　　　　　　　　　　(上限は実施期間に関わらず64GPU（8ノード）)

内訳: X GPU×T 時間 ×3消費係数= ○トークン

□システム名： mdx

・ vCPU(上限は608vCPU (4ノード相当) )

・ GPU (上限は1 GPU)

・仮想ディスク GB(上限は100 GB)

・高速内部ストレージ TiB(上限は1 TiB)

・大容量内部ストレージ TiB(上限は2TiB)

・オブジェクトストレージ TiB(上限は2 TiB)

・グローバルIPアドレス　　　　　個 (上限は１個)

具体的な利用計画（実施する計算内容毎に記述すること）：

5. 想定される成果（審査員と事務局以外へは非公開です。）

6. 研究業績（審査員と事務局以外へは非公開です。）

（課題責任者がこれまでに発表した論文、招待講演、学会発表のうち、本提案に関連するものを5件まで記述してください。学生向けインターン制度への応募においては、研究業績の記述が難しい場合は、研究テーマや興味のある分野について自由に記述してください。）

7. 過去の本制度への採択実績（審査員と事務局以外へは非公開です。）

（過去に本制度に採択された実績がある場合のみ、新規・継続に関わらず記述してください。）

7-1 採択時期と課題名

（過去に本制度に採択された課題全てを記述してください。欄は必要があれば増やしてください。）

20 年度（前期・後期・インターン（該当するものを残してください））

新規と継続の別：新規・継続（該当するものを残してください）

課題名：

20 年度（前期・後期・インターン（該当するものを残してください））

新規と継続の別：新規・継続（該当するものを残してください）

課題名：

7-2 今回の申請課題と過去に採択された課題の相違点

（過去に採択された課題の目的や成果などを明記した上で、本研究課題との関係や相違点、本研究課題の特徴を記載してください。）